



コンテストへの 意気込み

このアプリケーションはこのチャレキャラのようなイベントにせっかく参加したのに、なかなか自分のコミュニティが広がりにくいことに憤りを感じ、どのような人が参加しているかの把握と、コンタクトをとるための閾を下げることを目標に作成を決意しました。SNSのような開かれた空間でコンタクトを取るのはどうしても気が引ける。そんな人でもこのアプリケーション上ではそのルーム内の人は同じ集団に属している人であるという事実が背中を押してくれて、コンタクトを取りやすくしてくれるはずです。このアプリケーションを通して、自分にとって有益なコミュニティを構成できるようになることを願っています。

7月ごろから開発を始めたばかりの素人集団ですが、各自で調べながら、時に協力して教え合いながらなんとか開発を続けてきました。まだまだ発展途上のチームですので、今後ともよろしくお願いします。

今回のアプリケーションはメンター面談の際にアイディアを非常にほめていただきました。発表当日にどのような完成度になっているか分かりませんが、せっかくほめていただいたアイディアなので形になっていることを祈っています。 開発始めたての素人集団ということで、Gitの使い方にもなれず、技術力もバラバラだったため、そこをなるべくそろえるところから始まりました。そのため、本アプリケーションの開発に取り掛かるまでの道のりが長く、この応募書を書いている時ですらコンテスト当日に完成しているか非常に不安な状態です。

まだまだ力不足な開発チームですが、精一杯努力して開発したのでよろしくお願いします。